

保護者の皆様

仙台市立人來田中学校
校長 佐藤 丈春

令和2年度 教育活動に関するアンケートの集計結果について(お知らせ)

向春の候、保護者の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本年度の教育活動に関する保護者の皆様からのアンケート及び生徒・教員自己評価につきまして、下記のとおり集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。三者のアンケートの結果を分析・検討し、今後の指導における改善の方策を掲載いたしました。

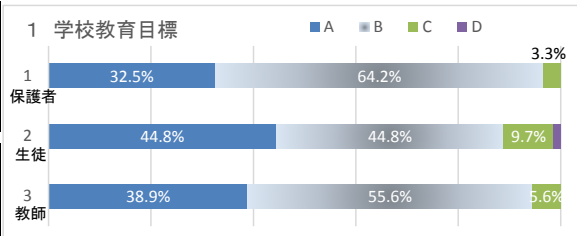
回答者数(回答率%)	保護者:121名(回答率87.7%) 生徒:135名(回答率97.8%) 教員:21名(回答率100%)
------------	--

学校教育目標・目指す生徒像について

【学校教育目標】

1 学校は、知・徳・体の調和を図り、心身ともに健康で人間性豊かな生徒の育成に努めている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	32.5%	64.2%	3.3%	0.0%
2 生徒	44.8%	44.8%	9.7%	1.5%
3 教員	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%

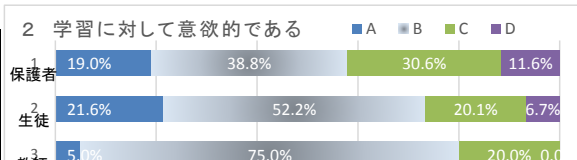


保護者・生徒・教職員の三者いずれにおいても、約9割が「A(達成)」「B(おおむね達成)」と評価しています。今後も、心身の健康に努め、人間性をより豊かにしようとする生徒の育成を目指します。

【目指す生徒像(自主)】

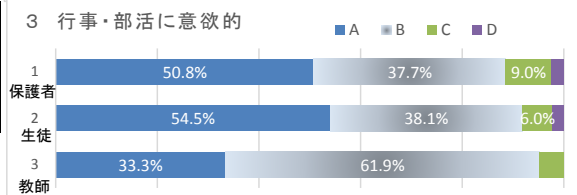
2 学習に対して意欲的である。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	19.0%	38.8%	30.6%	11.6%
2 生徒	21.6%	52.2%	20.1%	6.7%
3 教員	5.0%	75.0%	20.0%	0.0%



3 学校行事や部活動に対して意欲的である。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	50.8%	37.7%	9.0%	2.5%
2 生徒	54.5%	38.1%	6.0%	2.2%
3 教員	33.3%	61.9%	4.8%	0.0%



9割以上の生徒が、学校行事や部活動に対して意欲的であると回答しているのは、このコロナ禍においても、行事などの活動をできる形で実施してきた成果と考えます。今後も、多くの場面で生徒が「自己有用感」を得られることができるよう、工夫しながら教育活動を実践していきます。

学習に対する意欲についての回答で、保護者・生徒と教職員とで違いが見られますが、これは、授業の中で見られる生徒の素直で前向きな姿と、家庭で学習に取り組んでいる姿とのギャップと考えられます。生徒のやる気を引き出すような、家庭学習のきっかけ作りを提案していきます。

【目指す生徒像(友愛)】

4 友達関係が円満である。

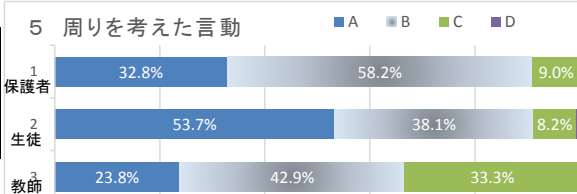
	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	49.6%	39.7%	10.7%	0.0%
2 生徒	62.7%	29.9%	7.5%	0.7%
3 教員	9.5%	76.2%	9.5%	4.8%

5 周りの人のことを考えた言動や行動をしている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	32.8%	58.2%	9.0%	0.0%
2 生徒	53.7%	38.1%	8.2%	0.7%
3 教員	23.8%	42.9%	33.3%	0.0%

6 他人にいじわるをしたり、傷つけたりしていない。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	59.8%	36.1%	2.5%	1.6%
2 生徒	73.1%	23.9%	3.7%	0.0%
3 教員	14.3%	57.1%	23.8%	4.8%



設問4(友達関係)、設問5(周りを考えた言動)、設問6(他人を傷つけない)への回答から、9割以上の生徒が他との関わりが高い意識を持って生活していることが分かります。教職員が設問5と6でC、Dの割合が高くなっているのは、生活アンケートやいじめ調査で多くの事案を認知しているからです。今後も事案の大小を問わず、丁寧に対応していきます。

【目指す生徒像(健康)】

7 健康で休まず登校している。

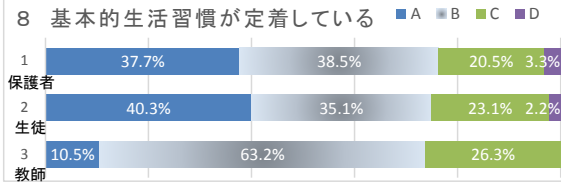
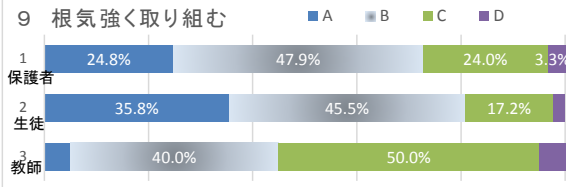
	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	66.4%	23.0%	7.4%	3.3%
2 生徒	62.7%	28.4%	7.5%	2.2%
3 教員	15.0%	55.0%	25.0%	5.0%

8 早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣が身に付いている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	37.7%	38.5%	20.5%	3.3%
2 生徒	40.3%	35.1%	23.1%	2.2%
3 教員	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%

9 困難なことに対しても根気強く取り組んでいる。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	24.8%	47.9%	24.0%	3.3%
2 生徒	35.8%	45.5%	17.2%	2.2%
3 教員	5.0%	40.0%	50.0%	5.0%

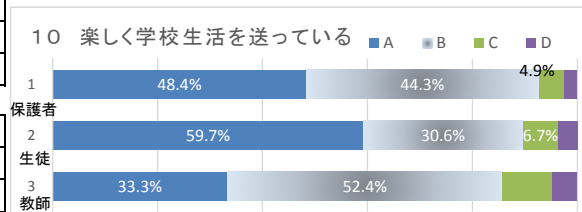


基本的な生活習慣が身に付いていると回答した生徒が約75%にとどまっています。また、困難なことに対する取組も決して良い評価結果ではありません。心と体の安定は、全ての「やる気」の源となります。「早寝・早起き・朝ごはん」をご家庭で実践し、生活リズムを整え、心身ともに健康な状態で登校してほしいと願っています。

学校生活全般について

10 楽しく学校生活を送っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	48.4%	44.3%	4.9%	2.5%
2 生徒	59.7%	30.6%	6.7%	3.7%
3 教員	33.3%	52.4%	9.5%	4.8%



11 学校や社会のルールを守って生活している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	65.6%	29.5%	4.9%	0.0%
2 生徒	65.7%	32.1%	3.0%	0.0%
3 教員	15.0%	80.0%	5.0%	0.0%

12 ノーメディアデーに取り組み、家庭での学習時間を作っている。

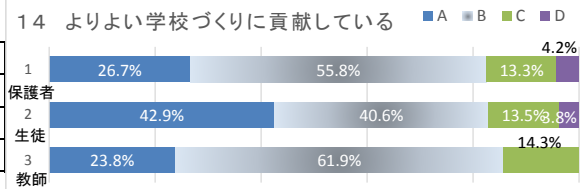
	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	16.0%	28.2%	42.0%	13.7%
2 生徒	32.1%	44.0%	23.1%	1.5%
3 教員	20.0%	35.0%	40.0%	5.0%

13 宿題や提出物の期限を守っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	42.1%	35.5%	14.0%	8.3%
2 生徒	49.6%	27.8%	18.8%	4.5%
3 教員	10.0%	35.0%	50.0%	5.0%

14 生徒会活動やキャンペーンを通してよりよい学校づくりに貢献している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	26.7%	55.8%	13.3%	4.2%
2 生徒	42.9%	40.6%	13.5%	3.8%
3 教員	23.8%	61.9%	14.3%	0.0%



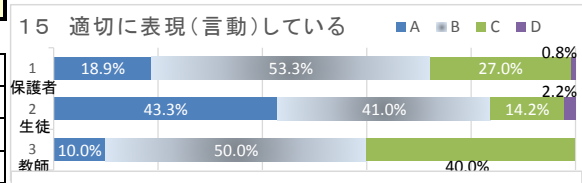
約9割の生徒が学校生活を楽しいと回答していますが、昨年度より6.0%減少しています。これは、コロナ対策で学校行事が縮小や削減されたことの影響が考えられます。しかし、この状況下でも、人來田中学校の生徒たちは学校や社会のルールを守って学校生活を送っていますので、今後も学校生活を充実させるために諸活動を工夫して実施していきます。

設問12の回答から、スマートフォンなどメディアの適切な利用ができるように促していく必要があると考えます。来年度からは定期考査前ではなく、メディアコントロール週間を設定して、日常のメディア利用についての指導を、さらに充実させていきます。

協働型学校評価について

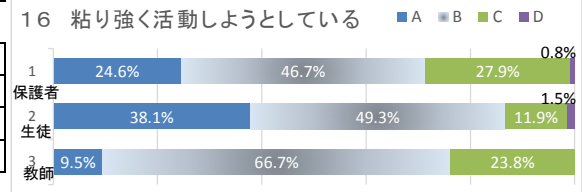
15 自分の考えや思いを適切に表現(言葉や行動など)している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	18.9%	53.3%	27.0%	0.8%
2 生徒	43.3%	41.0%	14.2%	2.2%
3 教員	10.0%	50.0%	40.0%	0.0%



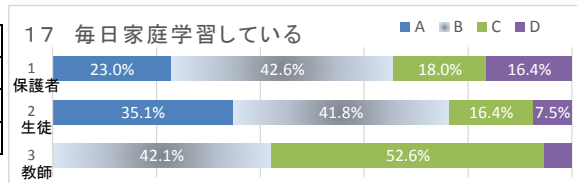
16 自ら積極的に行動し、粘り強く活動しようとしている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	24.6%	46.7%	27.9%	0.8%
2 生徒	38.1%	49.3%	11.9%	1.5%
3 教員	9.5%	66.7%	23.8%	0.0%



17 自ら毎日家庭学習をしている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	23.0%	42.6%	18.0%	16.4%
2 生徒	35.1%	41.8%	16.4%	7.5%
3 教員	0.0%	42.1%	52.6%	5.3%



協働型学校評価改善活動について【家庭・学校】

18 自ら自分の考えや思いを適切に表現(言葉や行動など)できる生徒の育成のために

保護者:家庭で、よく会話し、お子さんの考えや思いを表現(言葉や行動など)させている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	28.9%	57.9%	11.6%	1.7%
2 教員	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%

教員:生徒が考えや思いを表現(言葉や行動など)する場を設定した授業を行い、生徒の積極的な表現を称賛している。

19 積極的に行動し、粘り強く活動しようとする生徒の育成のために

保護者:家庭で、お子さんの役割を決め、積極的に役割を果たすようしている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	22.1%	49.2%	25.4%	3.3%
2 教員	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%

教員:生徒一人一人が活躍する行事・学習活動・委員会活動等を計画・運営し、生徒の活躍の様子を情報発信している。

20 自ら毎日家庭学習を行うことができる生徒の育成のために

保護者:家庭は、お子さんが家庭学習をしていたら積極的に褒めている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	19.7%	56.6%	23.0%	0.8%
2 教員	27.8%	50.0%	22.2%	0.0%

教員:生徒の家庭学習の充実のために、実態の把握と改善のための取組を行っている。

自分の考えや思いを表現できている生徒が8割以上です。学校では、生徒が積極的に表現したり行動したりしようとする姿勢を大事にしながら、発言や意見交換ができる学習環境を整えています。

学校では調査前を中心に「学習計画表の作成と実践記録の記入」に取り組んでいます。しかし、毎日の家庭学習を定着させるためには、毎日机に向かう習慣を身に付けさせる必要があります。そのために自主学習ノートを活用して、学級担任や学年担当、教科担任や部活動顧問など、学校全体で生徒の取組をフィードバックする体制作りを進めています。

確かな学力の育成について

21 学校は、お子さんが楽しく・分かりやすく学べるような授業づくりをしている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	24.0%	63.6%	11.6%	0.8%
2 教員	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%

22 学校は、学力向上のために授業体制(習熟度別指導・少人数指導・T-T指導)を工夫している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	28.1%	62.0%	9.1%	0.8%
2 教員	38.9%	44.4%	16.7%	0.0%

23 学校は、適切な学習習慣や家庭学習の指導を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	26.9%	57.1%	15.1%	0.8%
2 教員	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%

24 学校は、地域の人材や外部講師を活用して豊かな学びにつながるような指導を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	29.2%	61.7%	9.2%	0.0%
2 教員	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%

25 学校は、生徒が積極的に参加できるような学校行事を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	37.5%	55.0%	6.7%	0.8%
2 教員	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%

26 学校は、生徒が主体的に活動できるような部活動を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	36.7%	55.0%	8.3%	0.0%
2 教員	38.9%	44.4%	16.7%	0.0%

どの設問においても、8割以上の高い評価を得ていますが、設問24について教職員の評価が低くなっています。これは、地域総合防災訓練をはじめ地域清掃や夏祭りなど、地域とつながる行事がコロナ対策で削減されたためと考えます。今後は、保護者・地域の方々、関係諸機関との連携を図りながら、新たな形の教育活動を計画していきたいと考えます。

設問26には、保護者の約9割がA、Bの評価をしています。今年度は、各種大会や合同練習会などの多くが中止となり活動が制限されましたが、その中でも内容を工夫しながら活動してきました。次年度も本校の活動方針に基づいて、生徒の自主的な活動を尊重した部活動を計画・指導していきます。

生徒指導について

27 学校は、安全・安心な学校づくりに努めている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	59.5%	38.0%	2.5%	0.0%
2 教員	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%

28 学校は、子どもの生活指導を適切に行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	50.4%	46.3%	2.5%	0.8%
2 教員	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%

29 学校は、いじめ防止に向けた取組を適切に行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	48.8%	47.1%	4.1%	0.0%
2 教員	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%

31 学校は、子どもを理解し子どもの相談に親身に応じている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	43.2%	51.7%	5.1%	0.0%
2 教員	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%

33 学校は、緊急事態(ケガ・事故等)が発生した場合の対応を適切に行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	60.8%	39.2%	0.0%	0.0%
2 教員	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%

設問27から33の全てで、A,Bの評価が9割以上の回答でした。いじめの未然防止に重点を置き、生徒会執行部を中心として、「いじめ防止バッジ・ポスターの作成」と「いじめを生まない行動目標の設定」を実施しました。いじめの対応については、学校生活に関する調査を年間5回実施し、記入された内容について丁寧に聞き取りをした上で即座に対応すること、複数の教職員で組織的に対応することを心掛けています。いじめの対応には、家庭と学校の連携が必要不可欠ですので、今後もご理解とご協力をお願いいたします。

防災教育について

34 学校は、防災教育や道德教育を通して、命の大切さや思いやりの気持ちを育てている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	51.6%	45.9%	2.5%	0.0%
2 教員	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%

30 学校は、いじめが起きた場合すみやかに対応している。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	44.9%	53.4%	1.7%	0.0%
2 教員	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%

32 学校は、家庭への連絡をきめ細かく行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	47.5%	46.7%	5.7%	0.0%
2 教員	63.2%	26.3%	10.5%	0.0%

35 学校は、5校合同地域総合防災訓練を通して、具体的な避難所開設時の活動訓練や「地域に役に立つ中学生」の育成に力を入れている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	49.2%	47.5%	3.3%	0.0%
2 教員	17.6%	35.3%	41.2%	5.9%

保護者・地域との連携について

36 学校は、教育活動について積極的に保護者や地域に発信している。(各種たより, 学校ホームページ, 掲示物等)

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	45.9%	49.2%	4.1%	0.8%
2 教員	36.8%	36.8%	21.1%	5.3%

施設・設備について

37 学校は、学習・生活環境の充実のために施設・設備の整備を行っている。

	A(達成)	B(おおむね達成)	C(やや不十分)	D(不十分)
1 保護者	45.1%	50.8%	3.3%	0.8%
2 教員	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%

●その他、ご意見いただいたことについて

教室エアコンが設置され、今年度から夏季の冷房が可能となり、学習環境の整備が進みました。また、1学年教室へのロッカー設置に続き、次年度の早期には2学年教室にロッカーを取り付けます。仮に設置している木製の棚については、補強や修繕を行いながら対応していきますのでご了承ください。

校舎内外の老朽化については、教職員で毎月安全点検を実施して施設設備の修繕を進めていますが、生徒たちが気付く、ご家庭で話題になった箇所等があればご連絡ください。

コロナ禍において、学校での生活様式も新しくなってきました。その中で、換気の必要性から室温の調整が難しい場合もありますが、服装等で調節できるように、奨励服や体操着の着こなし等について、検討を重ねていきたいと思っております。

まとめ

アンケートへのご協力に感謝いたします。

アンケート結果全体を通して、「A:達成」「B:おおむね達成」との評価が多いです。この結果は、小規模校であることを本校の良さとして捉え、生徒一人一人を大事にする教育活動の成果と考えています。

また、記述によるたくさんの貴重なご意見や励ましをいただきました。本年度中に改善すべき点については早速に取り組み、さらに人來田中学校の教育活動をより充実させるために次年度の計画づくりに生かしていきます。

これからも、「地域とともに歩む学校」を目指し、学校・家庭・地域の三者が協働してよりよい生徒の育成に努めていきたいと考えます。ご理解とご協力をお願いいたします。